

犬を飼っている方は、蚊によって媒介されるフィラリア症という病気を存じかと思えます。フィラリアといえば犬だけに感染する病気だと思っている飼い主さんは、意外と多いのではないのでしょうか。

もちろん、フィラリアが成長するのに最も適した環境は犬の体内です。別名「犬糸状虫」という和名からも、犬だけに感染する病気と誤解を与えやすいのですが、フィラリアは猫にも感染する病気なのです。

犬のフィラリアは犬と同様、肺動脈に寄生します。犬と猫の違いは、成虫の生存期間が猫は2〜4年と短い点（犬は5〜6年）、成虫が雌雄どちらか一方だけなので繁殖できない点（犬は繁殖可能）、そして数がせいぜい1〜3匹とかなり少ない点です。

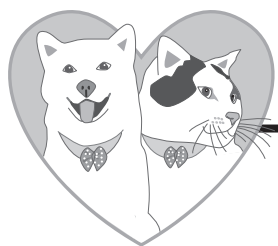
感染する確率も犬より低いでしょう。しかし猫の心臓は犬の心臓よりはるかに小さいため、ひとたびフィラリアに感染すると、たとえ虫の数が少なくても重症化する傾向にあります。

症状としては咳、呼吸困難、食欲不振、元気消失などがあり、突然死する場合もあります。他の病気と区別しにくいのが特徴で、気がついた時には手遅れといったケースも多いようです。

犬の場合は顕微鏡でのミクロフィラリア検査、検査キットを使った抗原検査でフィラリアの感染を調べることができますが、猫にはこれらの検査はあまり有効ではありません。感染を調べるのは犬よりも非常に難しいと言えるでしょう。

愛するペットのために…Vol.393

松波動物病院分院  
ベッツアニマルクリニック瀬戸  
動物看護師 桜庭麻佑



## 動物医のアドバイスダイアリー

### 【猫にもフィラリア予防を】

フィラリアに感染しないためには、予防薬で予防をしていただくことが何より大事です。予防薬といっても犬用のものではなく、猫にも専用の予防薬があります。犬と同様、決められた期間毎月予防薬を投与することでフィラリアの感染を防ぎます。

犬と比較してみると、発生率も認知度も低い猫のフィラリア症ですが、ここ最近注目されてきており、動物病院でも猫への予防も勧めるようになってきています。

蚊が多く発生している地域に住んでいる場合や、外に出て行ってしまう猫を飼っている場合は、蚊に刺される確率が高くなるので、予防していただくことをお勧めします。



これでなく茶  
**活命茶**

販売協力会社／**中北薬品株式会社**  
名古屋市中区丸の内3丁目5番15号 油伊ビル

販売者／〈お問い合わせ先〉**株式会社キスラ**  
名古屋市中区天塚町4丁目66番地 TEL (052) 528-5567

やさしさのブレンド

**中北薬品**  
かつめいちや

**8種の植物を**  
ブレンドした健康茶

ウーロン茶・ほうじ茶  
ハト麦・ハブ茶・ナツメ  
柿の葉・昆布・ジャスミン

なかきたオンラインショップ **検索**